

## システム導入による業務改善内容（例）

### ●災害情報管理機能について

#### 【導入前】

各課より報告された情報は紙媒体で防災課に集約され、集計・分析された内容をホワイトボードに記載し、その内容を直接ほかの課の職員が目視することで、情報共有を行っていた。

#### 【導入後】

各課より直接システムへ情報登録でき、集計・分析も自動的に行われる為、業務負担が大幅に軽減された。また、情報共有についても各課より画面で確認できる為、共有格差が減少した。

加えて防災職員不在でも登録さえしていけば情報管理ができるので、地震等により、担当職員が登庁不能時でも一定の機能は果たすことができる。

#### 【導入前】

災害現場での調査業務において複数現場に出向いた場合、調査内容が職員が帰庁するまで報告されず、対応に遅れが出ていた。

#### 【導入後】

現場からタブレット端末を使用して町苦節情報を登録、写真機能などで状況判断が容易になったためリアルタイムに災害現場の状況把握が可能となった。

また既知の状況ばかりでなく臨機応変に現場対応の指示を出すことで被害拡大を防ぐことにも役立っている。

## システム導入による業務改善内容（例）

### ●気象情報収集機能について

#### 【導入前】

水防体制時に関係地域を貫流する3つの一級河川の水位状況を注視する必要があるが、一つの河川を監視していると、他方の河川が急速に増水するなど初動に不安があった。

#### 【導入後】

各観測所が一覧表示され時系列で推移がわかる。加えて、設定値を超えると色表示でアラートしてくれるなど見落としが減少した。

### ●職員参集機能について

#### 【導入前】

携帯電話による連絡網方式で配備体制を通達していた。ただし、該当職員のみへの通達なので非該当の職員には現在の配備体制が共有されておらず、次の段階へ体制があがった際、準備不足などで初動に遅れが生じていた。

#### 【導入後】

配備体制への該当非該当にかかわらず状況を共有（参集、待機）することで、次の段階への時間的、心理的な余裕が生まれ、初動が迅速に行えるようになった。

## システム導入による業務改善内容（例）

### ●帳票出力機能について

#### 【導入前】

災害が鎮静した後、被害状況を再度調査し、調査報告書を作成していた。

#### 【導入後】

登録情報がそのまま調査報告書に反映される為、同じ被害案件について重複して調査する必要がなくなった。